



令和元年 9月4日 NO 9
白山市立蕪城小学校

教育目標 未来を生きぬく人間の育成
校訓 めざす児童像
〈考える子〉 考え伝え学び合う子
〈やさしい子〉 規律正しく主体的な子
〈たくましい子〉 健康・安全な子

◆学力調査結果◆

4月に行った4・6年生の石川県基礎学力調査及び6年生の全国学力学習状況調査の結果がでましたので、お知らせします。

1. 学力調査の結果

〈県基礎学力調査〉

4年国語・・・県平均をやや下回っている 4年算数・・・県平均を上回っている
6年社会・・・県平均をやや上回っている 6年理科・・・県平均並

〈全国学力学習状況調査〉

6年国語・・・県平均をやや上回り、国平均を上回っている
6年算数・・・県平均をやや上回り、国平均を上回っている

2. 学力に関する本校の結果

【良かった内容】

4年国語：・漢字の読み、送り仮名・指示語が示すもの
4年算数：・二桁の足し算、三桁の引き算・小数の仕組み・分数の引き算
6年国語：・必要な情報を得るために適切なページを選択
・話の展開に沿って、自分の理解を確認する質問を選択
6年算数：・正しく図形を選択・棒グラフの読み取り・解答のための情報を選択
6年社会：・石川県の地理的特徴
6年理科：・水中の生物の知識・実験器具名称

【課題となる内容】

4年国語：・ローマ字・条件作文・意味を変えず分を書き直す・漢字の書き順
4年算数：・2つの棒グラフから読み取れることをもとに理由を記述
・言葉や式を使って記述
6年国語：・条件作文・漢字の読み
6年算数：・文章問題での数字の持つ意味理解・情報の性質を記述
6年社会：・複数資料からわかる事を記述
6年理科：・磁石につくものつかないもの、電気を通すもの通さないものを選択
・雲量の天気・空気と水の性質・顕微鏡操作・太陽の位置と方角

3. 課題に対する今後の取り組み

4年国語：ローマ字は2学期に習うが、1学期から継続的に指導する。
4年算数：授業の終末（まとめ・適応問題）で考えを書かせることを意識する。
宿題や朝学習や隙間の時間を使い計算力をつける手立てをうつ。
6年国語：文章構成をすばやく捉える力をつける。そのためには接続詞や指示語に着目させる。
間違いやすい漢字・熟語を隙間時間などを使って定着させる。
6年算数：式の意味を押さえていく。
6年社会：資料から分かることを語る指導、授業作りをしていく。
6年理科：実験や器具の操作は全員が確実にを行うようにする。
得た知識を実生活の事象とつなぐことを意識させる。

◆第1回学校関係者評価委員会より◆

8月21日（水）に学校評議員さんとPTA役員さんによる学校関係者評価委員会が行われました。

※評議員さんからは、以下のようなご意見をいただきました。

考える子

- ・自分の思いを自分の口から言える・伝えられる子どもになってほしい。
- ・授業中、先生の話をしっかり聞ける子に育ててほしい。
- ・「友達の考え」と「自分の考え」を☆話す☆聞く☆書くというのが、相手への理解や自分自身と向きあうことにもつながると思うので、とても良い取組だと感じました。
- ・「いじめ」に向かってしまう発想そのものがなくなるように思えるので、「やさしい子」にもつながっているのだなと思いました。
- ・全体的に教員のみなさんが、目標としている「考える子ども達」になっていると思う。
- ・学習習慣における児童と教員の結果にかなり格差があることが気になる。自学は個々のレベルの違いがあるが、とにかく毎日することが最も重要なので、保護者としてこの差をなくす事に協力していきたい。

やさしい子

- ・自己有用感アンケートの児童への質問がどのようなものだったのか。昨年度と同じ「自分がまわりの人の役に立つことができるか？」という質問だとすると、子どもには具体的にイメージしにくく、無難な回答（おそらくB）にしているのでは？と思います。もし変えることができるならより答えやすい質問にしてはどうか？と思います。
- ・生活習慣、集団生活、人間関係づくりは問題ないと思う。自己有用感の子ども達の評価が少し低く感じるが、保護者、先生方が、繰り返し子ども達に学校の楽しさを伝えていかなければならない。不登校の減少は成果の一つと言えると思う。

たくましい子

- ・子ども達の体力をアップし、持久力をつけてほしい。
- ・ジャングルジムの新設で自然な筋力アップに期待したいです。家の中でもできる筋力アップ運動を家族でやってみたいと思いました。
- ・子ども達が怪我や病氣なく学校に行くことが一番重要なこと。我が子も元気に健やかに楽しく学校に行っており、全体的に保護者の評価も高く、問題ないと思う。

重点項目や評価項目のあり方

- ・未来を生きぬくという親が子に思うことと同じ事を教育の側からも思ってくれていることがよいと思いました。
- ・評価項目を12として、それぞれの問いをシンプルにして焦点化している。
- ・先生方がしっかり現状を把握し、課題・目標・改善策についてもわかりやすく記載されており、問題ないと思う。

学校評価の進め方

- ・教育関係者でなく、ただの主婦であることもあってか、お話が少し難しく感じてしまいました。（カタカナの部分や専門用語のようなもの）でも、たくさんの情報を集めて、さらに良くするためにはと考えて下さっているのは理解できましたのでよいと思います。
- ・評価委員会の資料は分かりやすいまとめ方になっている。
- ・各取組について、①目標 ②現状 ③課題 ④改善策 という流れで分かりよい。
- ・これまで通り、引き続き評価を継続する事を希望します。

ご意見を参考に、学校経営を改善し、これからも子ども達のために学校教育を行っていきます。よろしくお願いします。

